



令和4年9月30日

報道機関 各位

鴨川観光プラットフォーム株式会社による観光庁補助事業「地域と一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」の採択について

事業総額 20 億円超！鴨川観光プラットフォーム株式会社が観光庁補助事業「地域と一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」の採択を受けました。

鴨川市の観光地域づくり法人（DMO）である鴨川観光プラットフォーム株式会社は、市内の宿泊事業者や交通事業者を取りまとめ、観光庁の補助事業である「地域と一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」の採択を受けました。これにより市内各事業者による 20 億 8,934 万円の事業の実施が予定されており、観光庁からの補助金は 6 億 8,793 万円と見込んでいます。

「地域と一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」は、宿泊施設の改修工事などを含む地域で取り組む観光地の再生に向けた事業を支援する事業で、例えば宿泊施設の機能を向上させる改修工事に対し最大 1 億円を補助するなどの支援メニューがあります。

鴨川観光プラットフォーム株式会社は、地域の観光振興の担い手として、市内の観光・宿泊事業者や交通事業者を取りまとめ、当該補助事業の採択を 9 月 2 日に受けました。これにより、宿泊事業者による外観の整備やレストランの拡充、入浴施設付き客室の増設に加え、交通事業者が実施する貸切タクシーで観光地を周遊する事業など、計 19 事業・総額 20 億 8,934 万円の事業が実施されることとなり、その効果として宿泊者や旅行消費額の増加が見込まれ、地域への経済効果なども期待できます。

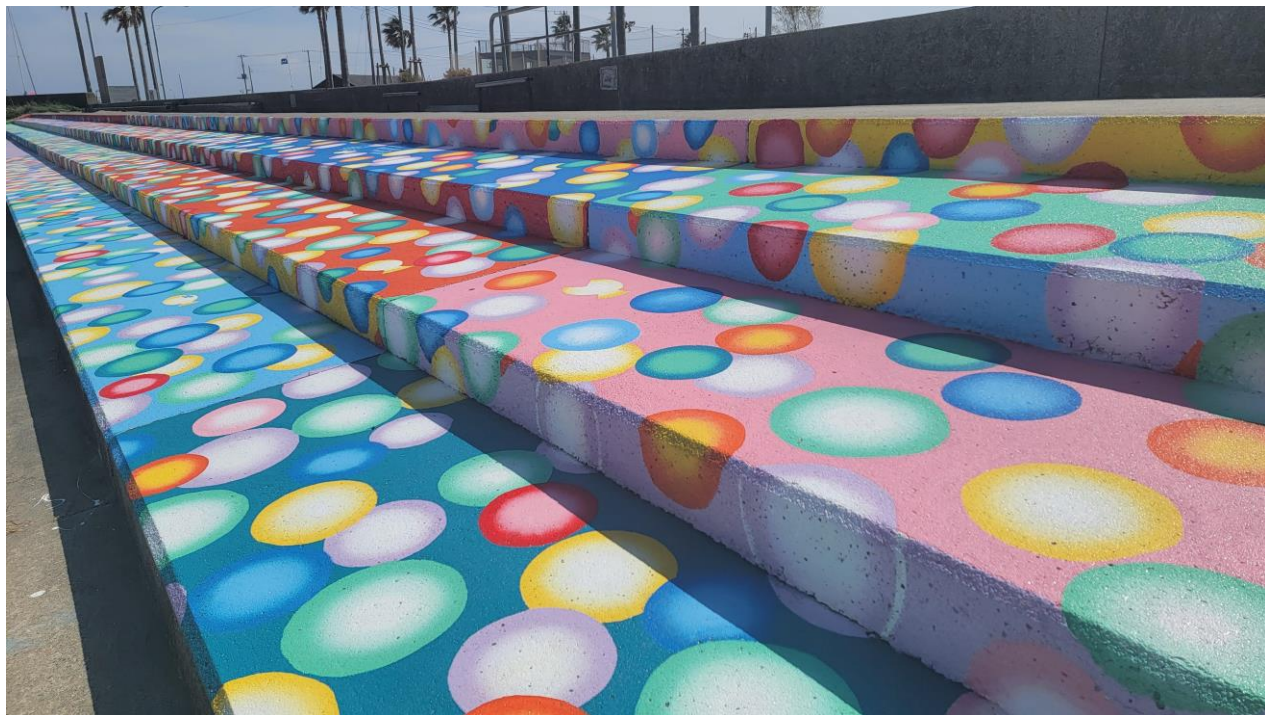
観光庁のホームページによると、9 月 2 日現在で、千葉県内では、鴨川市のほか、養老溪谷、館山市、南房総市、鋸南エリアの 5 地域が採択を受けています。

鴨川観光プラットフォーム株式会社は、今回の補助事業の採択を受けたほか、教育旅行の受け入れや観光情報サイト「カモ旅」の運営、ウォールアートによる「鴨川アートプロジェクト」の実施、さらには、鴨川市からのふるさと納税業務や太海フラワーセンターの維持管理業務を請け負うなど、観光地域づくりの舵取り役として各種事業に取り組んでいます。

昨年度は、観光庁の「既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業」の採択を受け、市内 15 事業者による総額約 3 億 7,989 万円（補助金額 2 億 9 万円）の事業を取りまとめています。

同社は、今後も、鴨川市や一般社団法人鴨川市観光協会などの関係団体と連携した観光まちづくりを推進していくとしており、ポストコロナ、ウィズコロナにおける観光誘客に向けた DMO の取り組みに期待が寄せられます。

【昨年の鴨川アートプロジェクトにより制作したウォールアート（前原・横渚海岸）】



【問い合わせ】

商工観光課 04-7093-7837

鴨川観光プラットフォーム株式会社 04-7093-2461

問い合わせ（記事作成）

建設経済部 商工観光課 観光まちづくり振興係

担当：早瀬

TEL：04-7093-7837 FAX：04-7093-7856